

英語圏の文学Ⅳ

科目ナンバリング LIE-204
選択 2単位

木谷 厳

1. 授業の概要(ねらい)

英語で書かれた文学を学ぶなかで、英語による表現力への理解を深めるとともに、英語が使われている国・地域の文化についても学びます。また、中学校および高等学校での教職を志望する学生は、上記の内容を外国語科の授業に生かすことができるようにします。

この授業では、小説が文学のメインストリームとなり始めた19世紀以降に主眼をおきながら、英語圏で書かれた小説の紹介・解説をします。その際、相互理解と自己表現力を高めるためのグループ・ディスカッションも取り入れます。その他、作品理解の補助として映画など視聴覚資料も用います。

2. 授業の到達目標

- ・授業内で扱われる、代表的な英語小説(文学)についておおそ理解し、説明できる。
- ・文学作品の読解を通じて、英語が使用されている国・地域の文化について理解し、その特質について自分の言葉で説明できる。
- ・イメージ(映像)を分析し、そこから自らの意見を構築できる。
- ・小説の世界観を通じて異文化と自国文化の差異に気づき、それぞれの美質をある程度理解し、自分の言葉で説明できる。

3. 成績評価の方法および基準

・毎回課される提出課題の成果 40%: 各回のテーマとなる英語圏文学の内容について、文化的観点とあわせて理解し説明できるかを評価します。

・学期末の筆記試験の成果 30%: 学期をつうじて学んできた英語圏文学の内容について、文化的観点とあわせて理解し説明できるかを評価します。

・平常点 30%: 授業への参加・貢献度、受講態度(積極的かつ協調的に学ぶ態度等)の状況を基準とします。

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は用いず、教員が自作の資料を毎回配布します。

参考文献

ジョン・サザーランド著、河合祥一郎訳 若い読者のための文学史 すばる舎、2020年

Jonathan Bate English Literature: A Very Short Introduction Oxford University Press, 2010

5. 準備学習の内容

以下のような準備学習課題を出します。この予習をもとに授業を進めますので、予習を怠ると授業の理解を深められなくなります。

- ・一定量の詩作(英作文)課題(12回程度)
- ・配布資料や参考文献・資料の読み込みおよび視聴
- ・授業内容に関連する資料や文献等の自主学習

6. その他履修上の注意事項

- ・より発展的な英語力が求められるため、本授業よりも先に「英語圏の文学Ⅰ」および「英語圏の文学Ⅱ」を履修していることが望ましいです。
- ・「英語圏の文学Ⅲ」を未履修でも受講可能です。
- ・毎回電子辞書ないしは紙の辞書を手元に用意してください。
- ・欠席および公欠の扱いについては、大学の規程にしたがいます。
- ・遅刻(授業開始時刻に着席していない)が複数回ある場合は、欠席としてカウントします。
- ・私語は厳に慎んでください。
- ・受講に際してとくに対応が必要な場合(病気や怪我、障害など)は遠慮なく申し出てください。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | イントロダクション |
| 【第2回】 | 19世紀前半の作品(前)紹介・解説 |
| 【第3回】 | 19世紀前半の作品(中)分析・ディスカッション |
| 【第4回】 | 19世紀前半の作品(後)まとめ |
| 【第5回】 | 19世紀後半の作品(前)紹介・解説 |
| 【第6回】 | 19世紀後半の作品(中)分析・ディスカッション |
| 【第7回】 | 19世紀後半の作品(後)まとめ |
| 【第8回】 | 20世紀前半の作品(前)紹介・解説(オンライン) |
| 【第9回】 | 20世紀前半の作品(中)分析・ディスカッション |
| 【第10回】 | 20世紀前半の作品(後)まとめ |
| 【第11回】 | 20世紀後半の作品(前)紹介・分析 |
| 【第12回】 | 20世紀後半の作品(後)ディスカッション・まとめ |
| 【第13回】 | 21世紀の作品(前)紹介・分析 |
| 【第14回】 | 21世紀の作品(後)ディスカッション・まとめ |
| 【第15回】 | LMSをつうじて全体のまとめと最終課題提出
※状況に応じて順番や内容が変わる可能性もあります。 |